

2025年8月26日(火)運営推進会議にて実施・評価。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	法人の理念である“良質な介護”を目指し、入居者それぞれに沿ったプラン・支援を行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	依然としてコロナが続いているため十分な地域交流が出来ているとは言い難い。施設前の美容室でのカットは継続中。	まだコロナの影響が残っているため積極的な外出や交流は行えていないが、少人数での開催や地域との交流を持てるよう検討する。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	運営推進会議にて入居者へのサービス状況は伝達し、新たな意見があれば報告している。	運営推進会議の開催・意見交換のみでなく、行政・包括センター・自治会と、それぞれの役割で意見の交換が出来ればなお良いのではないか?		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での交流のみとなっているため、積極的に交流していきたい。	事業所での取り組みの中で、困ったことなどがあれば、積極的に連絡が取れる関係性を構築し、協力関係を作っていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	毎年2回の身体拘束研修の実施と、3ヶ月毎の委員会を開催し、拘束のないケアに取り組んでいく。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	引き続き研修を実施していくとともに、言葉での拘束【スピーチロック】について、検討していくべきだと考えている。↓
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	毎年2回の身体拘束研修の実施と、3ヶ月毎の委員会を開催し、虐待防止に取り組んでいる。言葉使いにも注意するよう法人内でチェックリストを活用している。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	他サービスに比べ、入居者様との距離感が近いため、定期的な研修を実施し、適切な声掛け・サービス提供を心掛けたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	毎年1回は権利擁護について勉強会を開催しており、知識を深める機会を作っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約前には必ず見学に来ていただき、事業所内の雰囲気も見ていただくよう対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内での入居者の状態や特変等あれば必ず家族への連絡を行っている。また要望等は要望苦情チェックシートを活用し、改善に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も定期的に家族との連絡体制を強化していきたい。 現在、常勤看護師が中心となり、わずかな変化でもこまめに連絡する体制を作っている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年度初めの面談や日々の情報の吸い上げを業務内で行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年度初めの面談時は、個人目標の設定だけでなく、力量評価も行い、次のステップに向かっていけるよう促し、中間・期末も同様に実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の研修担当者による新人研修やフォローアップ研修、認定試験など様々な研修機会を設けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市内のグループホーム連絡会が再開され、管理者が参加し、話し合われた内容は職員に伝達している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員として利用者と関わる一方でレクや体操、余暇活動時はできるだけ入居者に寄り添った立場(目線)を心がけている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会の制限を緩和し、家族様だけでなく、遠方に住む友人の方もお見えになり、楽しいひと時を過ごしていただけるよう支援している。			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	入居者の ADL に合わせた環境を検討し、退去者が出た時点で、居室の変更を行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	カンファレンスを通じて、現状の課題や改善点等を出すことで、ケアだけでなく介護計画にも反映している。	家族の想いの反映が少し薄いように感じている。介護支援専門員からの家族へのアプローチだけでなく、面会時等も声を拾える体制を目指す。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	日々の様子はフローシートに記載、また個人ファイル内の経過記録にも落とし込み、職員間で共有している。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	これまで行ってきた介護技術について、もっと良い方法を考えるよう小春職員だけでなくディ職員の意見も取り入れている。	小春職員のみでなく、施設全体で介護を行っており、経験の豊富な職員が指導を行えるような仕組みとなっている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	訪問美容に来ていただくだけでなく、施設前の美容室への訪問も行っている。	毎週同市内のスーパーが運営する【とくしま】に販売に来てもらっており、入居者も買い物ができる体制を構築している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	入居前から関わっていた主治医は変わらず、訪問診療にも来ていただいている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	毎月、千春会病院と同法人の入所施設管理者と医療連携ミーティングを実施し、医療処置が必要な方の対応や入院者の情報共有を行っている。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	毎月の協力医療機関連携ミーティングにて、入院のリスクのある利用者を事前に伝えることで、体調不良時はスムーズに入院調整を行う。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	重度化した場合の対応について、主治医と家族様を含めた看取り期の対応について議論し、より詳細な連絡を取り合っている。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	急変・事故時の対応について、全体 Mt にて研修を実施。また転倒時のフローシートなども活用し冷静に状況把握に努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	年 2 回の避難訓練を実施し、館内での対応は出来ているが、地域での訓練には参加できていない。	入居者については、導線の確保を職員とともに実施。階段での移動が難しいため、火元となる直上からの移動を職員とともに実践する。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	

III. その人らしい暮らしを続けるため日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	言葉遣いには十分注意とともに、プライバシーの研修を定期的に開催し、常に心がけるよう取り組んでいる。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	一日のタイムスケジュールは、日々の状況において変更するよう対応しており、常に利用者の状態に合わせるよう心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	食前のテーブル拭きや食後の下膳・食器洗いもしていただくことで、アットホームな環境を整えている。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	利用者それぞれの状態に合わせた食形態での提供や、利用者の好みのものを家族様より持参いただくよう対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケア実施だけでなく、歯科衛生士による口腔内チェックも実施している。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	引き続き、歯科衛生士のチェック体制を強化し、今後は口腔衛生管理体制加算の算定を目指す。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	排泄チェック表にて排泄回数や排便のなかった日数等を毎日記録している。排便を促すよう腹圧マッサージや水分補給等を個別に促している。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	入浴予定日の体調や本人の気分に合わせ、入浴日は柔軟に変更している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	必ずしもフロアで過ごしていただくのではなく、その日の体調や気分に合わせ、過ごしていただいている。希望者はテレビも持参されている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	服薬ファイルを作成し、看護師が管理することで、いつでも確認できる状況下で、支援を行っている。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない		
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	これまで習慣化された家事(洗濯干しやたたみ・洗い物等)をしていただくことで、小春での役割をもっていただいている。	定期的に外部から来られるボランティアさんによる演奏を行ってもらつており、利用者の楽しめる時間を作っている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍であったため、外出はできない。(4月には近所の桜を見に外出)入居者によつては家族様と外出されスーパーや外食も楽しめている。	少人数での外出行事を今後検討し、施設対面にある喫茶店への訪問を検討中。法人としても少しずつ緩和していく方向である。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	一人一人の金銭については、事務所での保管としており、入居者に所持してもらう機会は作っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	家族様からの電話は希望により、ご本人に繋ぎ、直接お話しする時間を作っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	共用部や自室トイレ内には手すりを設置し、ご自身で動けるような環境を作っている。サブフロアの掲示板には季節ごとに手作りレク作品も展示している。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない		

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている				
--	--	--------------------------	--	--	--	--

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	本人の思いや意向は、日々確認し、全体ミーティングにて生活環境や目標の見直しを行っている。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	生活歴や習慣等は、入居時に聞き取りを行い、出来る限りその方にあったケア方針を立てるよう心がけている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	毎日の体調確認時には、必ず本人への聞き取りも行い、状況により看護師への報告・健康チェックを実施している。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	日中は必ずフロアで過ごすのではなく、入居者のペースに合わせて居室にて一人で過ごす時間も作っている。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	居室の家具や装飾品等は出来るだけ自宅のものを持参していたり、慣れ親しんだ環境を作っている。家族の写真等も居室に飾られている。	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	面会時は、お孫さんの写真等を持参していただき、家族様との思い出が目に見えて分かるよう部屋作りをしていく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍以降、徐々に家族との外出依頼が増えている。家族との昼食に参加される入居者もおられる。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	手作業レクや手伝いレク等の提供を行っているが、入居者によって配慮しながら提供物を選定している。		

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ことができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	入居者によっては、メインフロアだけでなく、サブフロアで少人数が集まってお話を出来る時間を作っている。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、地域住民との交流は満足に出来ていない。近隣住民のボランティア(週2日)のみ受け入れている。	傾聴ボランティア以外に、月1回程度の演奏ボランティアに訪問してもらっている。また3階フロアでの通所利用者との関わりも持っている。		
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	入居者同士だけでなく職員との関係性も深く、楽しみながら生活を送ることができている。	グループホームの職員だけでなく、デイ職員も小春で勤務しており、様々な年代・性別の職員と関わりを持てるように工夫できている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	